

令和元年度 出資団体監査の結果（指摘事項）に基づく措置状況等の報告

- 1 監査の種類 出資団体監査
- 2 監査対象 四日市あすなろう鉄道株式会社
都市整備部都市計画課公共交通推進室（出資に関する事務の所管所属）
- 3 監査実施期間 令和2年1月10日

監査の結果（指摘事項）

措置（具体的内容）・対応状況

【四日市あすなろう鉄道株式会社】

<p>(1) 個別注記表について 個別注記表の「重要な会計方針に係る事項」において、固定資産の減価償却の方法が表示されていなかった。会社計算規則（平成18年法務省令第13号）第101条第2号の規定に基づき固定資産の減価償却の方法を表示すること。</p>	<p>【措置済】 令和2年6月15日 次回の事業報告書等から、個別注記表の「重要な会計方針に係る事項」において、固定資産の減価償却の方法について表示するようにした。</p>
--	--

【都市整備部都市計画課公共交通推進室】

特になし

令和元年度 出資団体監査の結果（意見）に基づく措置状況等の報告

- 1 監査の種類 出資団体監査
- 2 監査対象 四日市あすなろう鉄道株式会社
都市整備部都市計画課公共交通推進室（出資に関する事務の所管所属）
- 3 監査実施期間 令和2年1月10日

監査の結果（意見）

措置（具体的内容）・対応状況

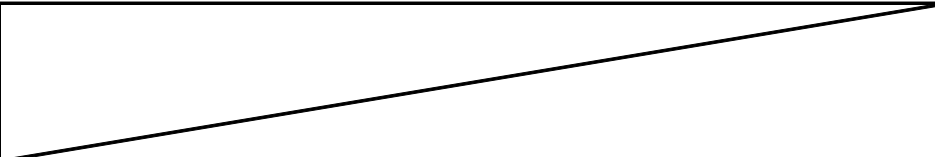
【四日市あすなろう鉄道株式会社】

<p>(1) 財務書類について 財務書類は、第二種鉄道事業者である当会社と第三種鉄道事業者である本市とそれぞれ別に作成され、一つの鉄道事業として一体となった財務書類がないため、鉄道事業全体の経営状況が見えにくい。鉄道事業全体の経営状況が分かるものとして、両事業者の財務状況を合算した連結の貸借対照表及び損益計算書の作成について検討すること。【要望事項】</p>	<p>【 継続努力 】 令和 2年 9月27日 第三種鉄道事業者である四日市市と検討していく。</p>
	<p>【 継続努力 】 令和 3年 3月27日 引き続き、第三種鉄道事業者である四日市市と検討していく。</p>
<p>(2) 営業戦略について 開業時の運賃値上げと内部・八王子線が近鉄線から分離され運賃体系が異なることになったことによる運賃の実質的な値上げにより、利用者の減少傾向が続いており、厳しい営業状態である。これまで以上に利用者の声を大切にして、老朽化したトイレの改修やコンビニエンスストアの駅構内への設置など多種多様な発想を持って営業戦略を立て、鉄道施設、車両等を所有している本市と協働して利用者増加に向けた取組みを推進すること。【改善事項】</p>	<p>【 継続努力 】 令和 2年 9月27日 特に学生のお客様が減少した事で、2019年度から通学定期券の利用促進と学生のお客様に割安でご利用いただくため、6カ月通学定期券を2回購入するよりも割安で再発行可能な「1箇年通学定期券」を期間限定で発売するなど利用者増加に向けた取組みを実施している。また、四日市市が進めている、内部駅・西日野駅の駅前整備においても継続的に整備工事を実施し、令和2年度中に完成することで利用者の利便性向上を図っている。</p>
	<p>【 措置済 】 令和 3年 3月27日 特に学生のお客様が減少した事で、2019年度から通学定期券の利用促進と学生のお客様に割安でご利用いただくため、6カ月通学定期券を2回購入するよりも割安で再発行可能な「1箇年通学定期券」を期間限定で発売するなど利用者増加に向けた取組みを実施している。また、第三種鉄道事業者でもある四日市市が進めていた、トイレ改修を含めた内部駅・西日野駅の駅前広場整備は、令和2年度をもって完成し利用者の利便性を図った。</p>

<p>(3) 販売用グッズの購入について グッズ販売を行っているが、そのグッズの購入に当たっては、地域貢献の一つとして市内の業者からの購入を増やすことも検討すること。 【要望事項】</p>	<p>【 継続努力 】 令和 2年 9月27日 お客様のニーズにあった商品、数量、製作費等を精査して、増収が図れるグッズを制作できる業者があるのであれば積極的に活用していく。</p>
<p>(4) 不正乗車対策について 利用者の公平性を確保するため、引き続き不正乗車に対しては厳正に対処するとともに、その防止策について本市と協働して積極的に取り組むこと。 【改善事項】</p>	<p>【 継続努力 】 令和 3年 3月27日 お客様のニーズにあった商品、数量、製作費等を精査して、増収が図れるグッズを制作できる業者があるのであれば積極的に活用していく。なお、コピー機、FAX等の複合機やWEB会議のネットワーク構築を市内の業者から購入している。</p>
<p>(4) 不正乗車対策について 利用者の公平性を確保するため、引き続き不正乗車に対しては厳正に対処するとともに、その防止策について本市と協働して積極的に取り組むこと。 【改善事項】</p>	<p>【 継続努力 】 令和 2年 9月27日 無人駅が多く、限られた勤務者の中で、管内巡視や締め切り作業時に、改・集札を行い得べき収入の確保に努めている。引き続き、毎月の内部八王子線 第二種・第三種鉄道事業者連絡会議で情報共有を図るなど、四日市市と協働して不正乗車対策に努力していく。</p>
<p>(5) 鉄道の安全な運行について 運転事故を未然に防止し鉄道の安全な運行を確保していくため、引き続き、教育による運転士の資質の維持向上と適切な労務管理に努めること。 【改善事項】</p>	<p>【 措置済 】 令和 3年 3月27日 無人駅が多く、限られた勤務者の中で、管内巡視や締め切り作業時に、改・集札を行い得べき収入の確保に努めている。 また、令和3年8月に導入を予定しているICシステムにおいて、最低運賃区間の残額が無ければ入場できない設定をするなど、不正乗車の防止を図っている。</p>
<p>(5) 鉄道の安全な運行について 運転事故を未然に防止し鉄道の安全な運行を確保していくため、引き続き、教育による運転士の資質の維持向上と適切な労務管理に努めること。 【改善事項】</p>	<p>【 措置済 】 令和 2年 1月10日 所属員には、安全運行に必要な教育の他、コンプライアンス・人権同和教育・安全衛生に対する教育等においても、定められた教育・考査を定期的に行い運転士、駅係員等の資質の維持向上と適切な労務管理を実施している。また、健康診断を年2回実施し健康管理に努めている。雇用契約延長運転士には、適正検査（運転シミュレーション・クレペリン検査等）を実施し、適正と認められた者を雇用している。</p>
<p>(6) 社員のモチベーションについて 事業運営により経常利益が発生した場合にはその相当分を本市に寄付し、経常損失が発生した場合にはその相当分を本市から補助する仕組みを採っており、当会社の経営努力が経営成績に反映されづらいものとなっているため、社員の労働意欲を維持するのが困難ではないか懸念する。社員の労働意欲を維持・向上させるためのモチベーションとなるような仕組みの構築について検討すること。 【要望事項】</p>	<p>【 措置済 】 令和 2年 1月10日 当社の事業形態は、経営努力が経営成績に反映されづらいものになっているが、所属員の給与等は成果による査定となっているため、増収のアイデアや日常の勤務態度等で成績が給与等に反映される。運転士においては毎年運転競技を実施して運転技能が優れているものには褒賞を与えるなどモチベーションを上げる仕組みが構築されている。</p>

<p>(7) 賞与引当金について 貸借対照表において、賞与引当金が未払費用として挙げられ、単独の科目として挙げられていない。明瞭な会計とするため、負債の部の科目として賞与引当金を挙げることを検討するとともに、挙げたときには、会社計算規則第101条の規定に従いその計上基準を個別注記表に表示すること。【改善事項】</p>	<p>【措置済】 令和 2年 1月10日 賞与引当金について、令和元年度決算報告から貸借対照表の単独科目として挙げる。また、個別注記表においても表示する。</p>
<p>(8) 本店について 「本店」の他に「本社」を設置している。「本店」は、代表取締役社長が業務執行を行っている場所の住所とし、一方、「本社」は、事務所がある住所としている。当会社の事業は、主に「本社」がある事務所において行われていることから、法的な問題も含めて調査検討した上で、「本店」と「本社」の位置付けについて整理すること。【要望事項】</p>	<p>【措置済】 令和 2年 1月10日 平成26年3月27日設立時に「本店」所在地として登記簿謄本に記載。翌年平成27年4月1日営業開始時に、実際に業務を行う現在の場所を「本社」として表記している。法的に「本店」設置は定められていて「本社」設置は定められていないが、業務遂行上整理するために「本店」と「本社」を位置付けている。</p>

【都市整備部都市計画課公共交通推進室】

<p>(1) 鉄道施設、車両に関する保守業務委託について 第三種鉄道事業者である本市が所有する鉄道施設、車両等について、その保守業務を第二種鉄道事業者として鉄道事業を行う四日市あすなろう鉄道株式会社に委託している。</p>	
<p>ア 鉄道輸送においては、列車の衝突や脱線等が発生すると多数の死傷者を生じるおそれがあり、また、踏切において列車等に接触するなどの人身傷害事故が生じるおそれがある。このような事故を防止するため、保守業務を委託するに当たって当会社との緊密な連携体制を確保して、施設の耐震化を含め鉄道施設、車両等の安全対策を推進し、市民が安心して利用できる一層安全な鉄道交通としていくこと。【改善事項】</p>	<p>【措置済】 令和 2年 4月10日 鉄道施設の保守業務を第2種鉄道事業者である四日市あすなろう鉄道株式会社に委託しており、施設の点検結果は毎月開催している第2種・第3種鉄道事業者連絡会議等で共有するとともに、列車の安全運行に必要な対策等を検討している。 安全運行が継続できるよう、施設の保守点検や施設更新等を計画的に実施していく。</p>
<p>イ 委託契約後には、毎月、受託者との会議を設けて鉄道施設、車両等の点検結果に係る報告を聴取したり、担当職員が車庫に向いて車両の点検作業を確認したりするなど、保守業務実施中の確認を行っている。引き続き現場の実査などを通じて業務履行の確認を強化することにより、委託金額の適切性を確保すること。【改善事項】</p>	<p>【措置済】 令和 2年 4月10日 引き続き、保守業務で実施している線路設備、車両設備等の現場実査を行い、委託金額の適切性を確保していく。</p>

<p>(2) 鉄道事業の実績について 営業距離7.0kmの鉄道事業に対し、第三種鉄道事業者である本市は、鉄道施設の修繕や保守業務に係る経常経費と設備投資に係る経費と合わせて、平成30年度において約1億7千万円を負担している。このような多額の負担に対し受益者負担の観点から疑問の声もあることを踏まえ、年間利用者数などの実績について他の公共交通と比較するなどして分かりやすく示すことにより、内部・八王子線が市民の足として大きな役割を果たしていることを市民や議会に対して丁寧かつ継続的に説明すること。 【改善事項】</p>	<p>【措置済】 令和2年4月10日 鉄道事業再構築実施計画に基づき、平成27年度から平成30年度までの4年間で全車両の更新を行ったため、平成30年度における第2種と第3種の実質収支額は1億7千万円になる等、大きな金額となっている。 今後は、維持修繕を中心に施設更新等を行っていくため、これまでより実質収支額は少なくなる見込みであるが、市民の足として大きな役割を果たしている鉄道であるため、年間利用者数や負担額等について、市民や議会に継続的に説明していく。</p>
<p>(3) 専門的な技術を持った職員の配置について 本市は、第三種鉄道事業者として鉄道施設、車両等の維持管理、保守及び修繕に関する業務を担っており、その業務の多くは四日市あすなろう鉄道株式会社へ委託している。当課には鉄道施設、車両等の維持管理などに関する専門的な技術を持った職員が配置されていない。鉄道施設、車両等を保有する第三種鉄道事業者としてリーダーシップを執れるよう、業務の内容を的確に把握し、委託料の積算にも精通するなど専門的な技術を持った職員の配置を検討すること。 【改善事項】</p>	<p>【継続努力】 令和2年9月27日 専門的な技術が習得できるよう保守業務や施設更新工事等における施工現場等において、作業内容、作業方法、必要な人員等について業者にヒアリングを行う等、確認を行った。また、鉄道に関する研修に積極的に参加する等、専門的な技術が習得できるよう職員を育成していく。</p> <p>【継続努力】 令和3年3月27日 専門的な技術が習得できるよう保守業務や施設更新工事等における施工現場等において、作業内容、作業方法、必要な人員等について、四日市あすなろう鉄道株式会社や施工業者にヒアリングを行う等、確認を行った。また、鉄道に関する研修に積極的に参加する他、国に確認しながら業務を進める等、専門的な技術が習得できるよう職員を育成していく。</p>